

報道関係者 各位

平成 28 年 1 月 18 日  
宗像市教育委員会 教育政策課

**平成 27 年度 玄海中学校校区福祉・人権学習について**

いつもお世話になります。本市では、平成 18 年度から宗像市内の全小・中学校で小中一貫教育に取り組んでおります。その取り組みの一つとして、今回、玄海中学校区の児童生徒がラッキーストライカーズ福岡及び福岡県障がい者スポーツ協会の方をゲストティーチャーとして招き、障がい者スポーツを通して福祉・人権学習を行います。

ご多忙中恐れ入りますが、取材いただけますと幸いです。

どうぞよろしくお取り計らい下さい。

日 時 平成 28 年 2 月 4 日(火) 14 時 15 分から 15 時 50 分

場 所 宗像市立玄海中学校体育館

参加者 玄海小学校 6 年生

玄海東小学校 6 年生・

地島小学校 6 年生

宗像市立玄海中学校 1 年生

詳 細 次項の計画をご参照下さい

**【問い合わせ先】**

宗像市立玄海中学校

担当：白土主幹教諭 TEL：0940-62-0135

宗像市教育委員会 教育政策課

担当：西島・舩越 TEL：0940-36-5099

玄海中校区小中一貫教育小中合同福祉・人権学習会実施要項

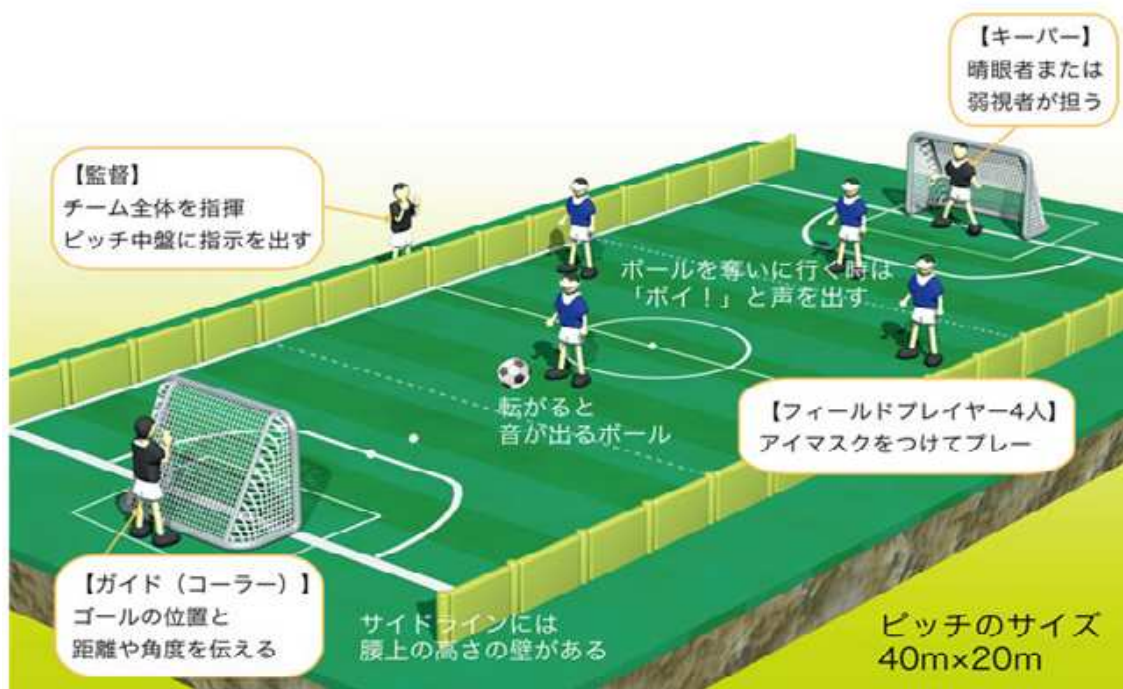
～ブラインドサッカーを体験して考えよう～

- 1 目的  
ブラインドサッカーのチームとの交流を通して、共生社会のあり方とバリアフリーについて考えることができる。  
ブラインドサッカーの競技者の生き方から、困難に負けない意志の強さに気づくことができる。
- 2 期 日  
平成28年2月4日(火) 14:15～15:50
- 3 場 所  
宗像市立玄海中学校 体育館
- 4 対象児童生徒  
玄海中学校 1年生 38名(男子20名,女子18名)  
玄海小学校 6年生 10名(男子 7名,女子 3名)  
玄海東小学校 6年生 34名(男子14名,女子20名)  
地島小学校 6年生 3名(男子 1名,女子 2名)
- 5 講 師  
ラッキーストライカーズ福岡  
福岡県障がい者スポーツ協会
- 6 内 容  
本校区では、小中合同の福祉・人権学習会を行っている。昨年度までは、車いすツインバスケットをおこない、車いす体験や車いすバスケット選手との交流を通して共生社会の在り方を学習してきた。  
本年度から、ブラインドサッカーをおこなう。事前学習をおこない、知識を習得し、小中合同でアイマスクを着用し、チームに分かれて視覚を失った体験や簡単なルールでブラインドサッカーを体験する。
- 7 玄海小中概要  
小中一貫教育推進校  
玄海中学校 校長 北野 恵一 全校生徒数 118名  
玄海小学校 校長 薄 俊哉 全校児童数 93名  
玄海東小学校 校長 田中 一郎 全校児童数 137名  
地島小学校 校長 有馬 宏 全校児童数 15名

本件連絡先 宗像市立玄海中学校 主幹教諭 白土 真二郎

電話 : 0940-62-0135 FAX: 0940-62-2501

## ブラインドサッカーのルール



## ブラインドサッカーの3つの特徴

### 音の出るボール

ボールは、フットサルボールと同じ大きさ。ボールは転がると音が出る特別なボールを使用しています。全盲の人でもボールの位置や転がりが分かります。

### 特徴的なかけ声「ボイ」

フィールドプレイヤーは、ボールに向かって行く時に、「ボイ」と声を出さなければなりません。選手の存在を知らせ、危険な衝突を避けるためのルールです。声を発しないと反則をとられます。「ボイ」はスペイン語で行くという意味です。

### 目の見える人の協力

敵陣のゴールの裏に「ガイド（コーラー）」と呼ばれる役割の人が立ちます。攻めている場面でゴールの位置と距離、角度、シュートのタイミングなどを声で伝えます。また、GKは、目が見える人が務め、自陣での守りについて全盲の選手に声で指示を出します。また、サイドフェンスの向こうに立つ監督は、選手交代の決定などに加えて、ピッチ中盤でのプレーに声を出します。選手同士の声の掛け合いも含めたコミュニケーションが勝負の鍵を握ります。